



| 令和7年6月18日(水) 岐阜県発表資料 | | | |
|----------------------|-------|-----|--|
| 担当課 | 担当係 | 担当者 | 電話番号 |
| 防災課 | 災害対策係 | 木全 | 内線 2842 直通 058-272-1124 FAX 058-278-2522 |

政策オリンピック「季節に応じた住民参加型訓練」 の審査結果を発表します

県では、災害発生時に、自らの命は自ら守り（自助）、地域でともに助け合うこと（共助）を通じて、地域の防災力を強化するため、基本的な防災訓練に多くの住民が楽しく参加できるアイデアを市町村や自治会から「政策オリンピック」の手法により募集しました。

このたび、36件の提案の中から、中・高・大学生や有識者による審査及び小学生による審査を行い、下記のとおり順位が決定しましたので、お知らせします。

記

■ 採択事業の概要

（金賞）^{みたけ}御嵩町「小中学生がプロデュース！！まるで縁日のような自治会防災フェスタ」

内容：「御嵩ぼうさい倶楽部」の小中学生が、楽しんで参加できるイベント内容を企画する。

評価のポイント：地域クラブと自治会の連携は珍しく良い取組みであり、今後も継続してほしい。（審査委員）

本当だったらとても危険な煙の部屋からの脱出を訓練できるから良い。（小学生）

（銀賞）^{たけはな}竹鼻町自治会（羽島市）「防災スポーツフェスティバル」

内容：防災に関するレクリエーションや模擬テント避難体験を通じて、共助を育み、地域の防災力を持続的に強化する。

評価のポイント：毎年継続して実施しており、今後の継続性が担保されている。（審査委員）
普通の運動会ではなく、災害に関係したこともやるから良い。（小学生）

（銀賞）^{みさか}神坂まちづくり協議会（中津川市）

「中山間地区のフィールドを活用した楽しい防災キャンプ事業（寒冷期編）」

内容：山からとれた薪を使い、ジビエや防災農園の食材など地域の要素を取り入れたカレー作り等楽しく避難所体験をする。

評価のポイント：防災農園の試みは面白みがあり、今後の進展が期待できる。（審査委員）
自分たちで火をおこす体験ができるから良い。（小学生）

（銅賞）^{だいほち}大八まちづくり協議会（高山市）「シナリオのない防災訓練+α」

内容：1年間で6回の季節やハザードに応じた訓練を楽しみながら行う。

評価のポイント：縦横斜めの連携が訓練の実効性を高めている。（審査委員）
季節ごとに様々な災害に備えられる良い訓練である。（審査委員）

地縁法人^{うわむら}上村区（下呂市）「知る^{シルル}区ロードウォーキング」

内容：過去の災害や防災体制、文化や歴史を学びながら楽しく区内をめぐる健康ウォーク

華陽^{かよう}自治会連合会（岐阜市）「令和7年度華陽地域防災訓練」

内容：年間を通じて様々な訓練を実施し、あらゆる世代を対象に地域防災力の強化につなげる。

【政策オリンピック「季節に応じた住民参加型訓練」】

(1) 目的

季節ごとに自治会等が実施する防災訓練について、積極的な住民参加を促すことで、発災時期を問わず円滑な避難ができるよう市町村等を支援する。

(2) 審査方法

- ①書類審査 令和7年6月2日(月)～6月6日(金)
- ②プレゼンテーション審査 令和7年6月15日(日)
(中学生3名・高校生2名・大学生1名、有識者4名)
- ③小学生審査 令和7年6月16日(月)
 - 大藪小学校 5年生 35名
 - 福東小学校 5年生 15名(オンラインで参加)
 - 仁木小学校 5年生 27名(オンラインで参加)

(審査委員長の講評)

- ・優秀な提案は、これまで長期に渡り防災の取組みを積み重ねてきた団体が多かった。今後も継続的に訓練を行うことが大切である。
- ・色々な立場の人が集まって話ができる良い機会だった。
- ・各地域の人は、他の地域でどんなことをしているか知らないなので、横展開をすると良い。

(小学生委員の感想)

- ・楽しむための工夫や災害が起きた時に役立つ提案があって良かった。
- ・これからの生活に訓練を活かしていきたいと思いました。

(中学生委員の感想)

- ・避難訓練は、たくさんの人が参加する必要があると考えている。たくさんの人が参加できるように企画を考えたり、外国人や障がいのある方にも目を向けて考えられていてすごいと思った。
- ・もしもの時は皆で助け合う必要があるので、自分だけでなく、周りにも目を向けていきたい。
- ・どの地区もとても考えられていて、色々な人が活躍できる訓練になっていてとても良いと思った。

(高校生委員の感想)

- ・今回の機会は良い経験になった。
- ・訓練への子供の参加と高齢者はあるが、高校生の参加が少ないので、自分の高校でも参加できる体制をつくりたいと思った。
- ・それぞれの地域で特色のある提案があったので、自分の地域で何をやっているかを確認して、自分たちの地域でも広めていきたい。

(大学生委員の感想)

- ・全ての提案がどれも素敵なものだった。企画者が楽しそうにやっているものが継続性があると感じた。それを学べてとても良い機会だった。

(3) 成果報告会の実施

令和8年3月に、本事業で実施した内容や成果を報告する成果報告会を実施予定